

特集 組合紹介

協同組合環境改善推進センター

環境負荷の少ない省エネ 商材で自ら仕事を創り出す ～脱・下請けを推進～

理事長

小田 一美 氏



協同組合設立までの 経緯と業界の課題

平成15年12月、環境負荷の少ない省エネ商材の活用によって組合員が『自律型経営へと事業転換すること』を目的に、中国地方の内装事業者が中心となって設立しました。建築業界においてはゼネコンや有力工務店が元請けとして施主から依頼を受け、様々な専門業者が下請けとして各工程を施工しています。中小の下請け業者は、元請けからの仕事量で自身の施工高が左右されるとともに、施工品質や工期で差別化するこ

とが難しいため、価格競争が蔓延する状況になっており、経営的に非常に不安定であったことが背景としてあります。私自身、50年以上にわたって建設業界に携わってきましたが、自律型経営へと転換するためには、営業・施工を含めた一体的な管理体制の構築と、価格競争に巻き込まれない新技術を持つことが必要だと感じていました。

協同組合の設立に向け一歩を踏み出すこととなった大きなきっかけは、ユニークで革新的な開発・研究者との出会いでした。この出会いによって、当組合の登録商標「液体カーテン

ES」が誕生しました。「液体カーテンES」は、窓ガラスに薬剤をコーティング施工することで近赤外線・紫外線をカットし、日焼けによる褪色や劣化を防ぐとともに高い遮熱効果が得られるオンリーワン商材です。

省エネ商材と組合 オリジナル技術

「液体カーテンES」が環境に貢献するエコロジカル技術の所以は耐久性の向上と廃棄物の減少にあります。既存の窓ガラスなどに遮熱・紫外線カットなどの機能を付加する場合、従来の工法では、ガラスに遮熱フィルムを施工することが一般的でしたが7～10年で劣化し、廃棄する際には廃棄物を増やすなどの課題がありました。「液体カーテンES」は耐久性が約50%向上(第三者機関で実証済み)するとともに、微少な廃棄物しか生じないなど、作業性も良く、環境負荷の低減にもなります。

一方で、既定通りの施工ができなければ本来の効果を発揮できない課題があります。現場ごとに異なる作業環境の中で、均一な膜厚、塗りムラ防止など施工品質を確保する効率的で簡便な施工方法を確立する必要がありました。前処理の方法、施工用具・洗浄剤の選定、希釈率の試験など、クリアしなければならない課題が多くありましたが、新技術として確立するために特別委員会を設置す

●アルミサッシ復元工法

バイオレメディエーション技術に応用した「バイオクリネス洗浄剤」と「バイオタフAP(色彩復元コーティング剤)」のコアを活用し現場施工技術を組み合わせることで復元可能。



経年劣化によるチョーキング(退色)したアルミサッシと復元後

●バイオクリネス洗浄工法

微生物が増殖する過程で生じる4つの分解酵素が石けん水との混合によって徐々に効果を発揮し、バイオフィルムや低級脂肪酸を分解消滅させ、臭いや汚れを落とす。特に細菌の繁殖によって不純物が蓄積したインターロッキングブロックなどの汚れなどには有効。
厚生労働省登録検査機関である(一社)東京都食品衛生協会東京食品技術研究所において、毒性、皮膚、目粘膜の安全性試験の結果、異状なしの成績を得ており、作業者に負担を与えない。



るなど、組合員が一丸となって取り組み、標準作業マニュアルを策定しました。併せて検査基準を設け、より確かな施工ができる体制を構築しました。現在では施工実績を重ねたことで品質も安定し、安心してご提案できるようになりました。

以降アルミサッシの復元、インターロッキングブロックなどの洗浄についても、工法を確立し、現在は3つの組合オリジナル技術を展開しています。

組合向け補助事業などの 積極的な活用

定期的な技術研修会を実施し、修了した組合員が各地域で販路を開拓しています。組合員の営業展開を側面的にサポートするため、組合の本部がある福山市において先行的にモデルケースとなる施工実績を重ね、これらの成果を組合員にフィードバックすることでノウハウの共有を図っています。また、他県で脱・下請けを目指す同業者や建設関連業者などに広くPRし、組合の活動を全国に広げていくた

め全国中央会の組合向け補助金、活路開拓事業を活用して、環境ビジネス展である「びわ湖環境ビジネスメッセ」に出展するなど、マーケティング、環境商材・技術としての認知度向上とブランド化を推進しています。

脱・下請けに向けた 今後の取り組みと課題

当組合の組合員は中小零細事業者ばかりで、競争力のある商材を探したり、施工技術の習得、マーケティング、ノウハウの蓄積などは、自力でとてもできることはありません。故になかなか脱・下請けが進まないのです。

この役割を組合が担うことによって、組合員の負担が大幅に軽減されると共に、組合が確立したノウハウや検査体制によって自信を持って営業・受注・施工ができるようになりました。やっと価格競争に巻き込まれない独自の商品・サービスを展開していく体制が整ったのです。

一方で、一番の課題は「困っている方にこれらの技術を如何に知っても

らうか」であると思っています。これまでに施工させていただいた殆どのお客様は、困っていても、コストの問題や技術的な課題のために諦めるか、新品に交換するしかない、と思っていた、と言われます。このような潜在的なニーズを掘り起こし、広く知ってもらうための活動を今後、強化していきたいと思っています。

第一弾として、現在、組合のホームページをリニューアル中です。豊富な施工実績や組合の管理・検査体制、施主様の声などを掲載し、安心してお問い合わせいただけるような構成を考えています。

今後も、《できない仕事から出来る仕事に》して世の中の人に喜んでもらえるよう、環境にやさしい新技術・新商品の提供を続けていきたいと思っています。

協同組合 環境改善推進センター

福山市沖野上町二丁目13-3
TEL : 084-920-9969
FAX : 084-920-9968
<http://ecoct.com/>